

「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来にむかって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年5月13日 文責：校長 森川 稔

協力し、友情いっぱい笑顔いっぱいの運動会

前週末はものすごい風雨で、天気予報を気にしながらの金曜日ではありましたが、子どもたちの「運動会を楽しみたい」という思いが通じ、熱中症の心配もないくらい、いい感じで雲がかかり涼しい気温の中で運動会当日を迎えることができました。

ご来場いただいた皆様、子どもたちの演技や競技はいかがだったでしょうか。今年度は日程の都合で例年に比べて練習日数が少ないことは予想がついていました。そこで、競技や演技によっては前年度から内容を検討し、少し練習を始めておくなどの工夫をしてきました。そんな中、子どもたちは本当によくがんばりました。当初は緊張し、時には悩みながらも、応援をはじめ、各色をまとめてくれた6年生でしたが、短い期間の中でリーダーシップを発揮してくれました。

他の学年も、徒競走では友だちと競い合いながら最後まで全力で走り、チャンス競技を楽しみ、表現種目では笑顔でリズムカルに、そして力強く堂々とした演技で感動を覚えしました。

この行事を通して、あらためて地域と家庭、学校とが連携して子どもたちの成長を見守っていく事の大切さを感じた運動会でした。多くの皆様のご来場、ご声援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



危機管理について

テレビやネットなどでも報道されていますが、先週、東京都で小学校に不審者が侵入するという事件が起きました。このことを受けて、本校での危機管理について再度確認してみました。

「他県のことだから…」,「平戸(田平)では…」ではなく、自然災害と同じようにこのような事件は、いつ起こるかわかりません。先号でお伝えした避難訓練においても、今回は私たち教職員の動きについて反省すべき点がありました。

本校の危機管理マニュアルをもとに、今回の事件のように外部からの不審者について、現状をお伝えいたします。本校は、施錠できる門扉や防犯カメラ等の設備はありません。来校者の多くは職員駐車場の方から徒歩で来られます。職員室は常時カーテンを上げており、カーテンを開けている校長室とともに、在室している職員から来校者は確認できるようにしています。保護者や地域の方、関係機関や業者の方はそこで確認できますが、来校の約束がない方や目視で確認できない方については、教頭や事務などが正面玄関に行って出迎えお声かけするようにしています。しかし、これで万全というわけではありません。校内への侵入経路はいろいろあります。運動会でも使用していましたが、職員は可能な限りトランシーバーを携帯しており、子どもの体調不良やけがなど緊急な場合すぐに連絡がとれるような対応をとっています。不審者侵入の場合も活用していきます。また、火災や地震と同様に、警察の方のご指導をいただきながら不審者侵入を想定した避難訓練も計画していく予定です。



今回の報道を受けて、本校で可能な危機管理体制の再考、そして子どもたちを守る教職員の危機管理意識、そして子どもたちへの周知をさらに向上させていきたいと考えています。

田平東小HPはこちらから→

